

2014. **10**月

品質月報

Monthly Quality Report

10月号 INDEX

10月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「御嶽山噴火」

PAGE 5 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 6 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 8 ……活動報告

『SSD部門機能強化・勉強会』開催



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日
サンシングループ
代表

石井 宏宗



今月のトピックス

「御嶽山噴火」



長野、岐阜県境にある御嶽山(おんたけさん、標高3067m)が9月27日午前11時53分頃噴火した。気象庁によると、噴火は2007年3月以来、7年ぶり。

気象庁は噴火まで、御嶽山の警戒レベルを5段階中で最低の「レベル1」(平常)に設定していた。予知は困難だったと説明している。噴火活動の終息の目処がたらず、今後も同規模の噴火が起きる可能性があるとして同日、入山規制が必要な「レベル3」に引き上げた。

御嶽山の噴火について、専門家で作る火山噴火予知連絡会は28日、1979年と同じ、マグマを噴き出さない「水蒸気噴火」だったとの見解を示した。火山灰の分析結果から、マグマが直接噴出したことを示す成分が検出されなかったからだ。また、マグマが地下から上昇してきたときに地表が変化する地殻変動も観測されなかった。今回の噴煙は高さ7,000mに達し低温の火砕流が斜面を下ったと認定した。

気象庁によると御嶽山は、9月11日に1日80回を超える地震が観測され、地震活動が活発になっていた。ただ、山の表面が膨らむといった地下からマグマが上昇してくるようなデータは確認されておらず、気象庁:北川課長は「地震の回数だけで、噴火の前兆と判断するのは難しい」と、噴火の予知は困難だったとの認識を示した。

対策本部は、10月8日時点、これまでと同じおよそ1,000人の態勢で捜索を再開している。戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火で、現在、55人の死亡が確認され、行方が分からないのは9人としています。噴火した御嶽山にシェルターはなく、死亡した人の多くが噴石が当たったことによる「損傷死」だったようです。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

<想定外のケース>

日頃、我々の生産活動においては、危害想定、リスクマネジメントをしてから行動します。また、想定されたリスクをシミュレーションすることにより、いざ、想定した事象が起こったときなどには、沈着冷静に対応が取れるよう訓練しています。一番、身近に感じるのが、火災を想定した避難訓練がまさに当てはまります。

さて、各個人、日々の仕事で想定外の事象が起きたとき、どのような行動をとるか？発生した事象により行動も違うでしょう。ただ、全てにおいて沈着冷静な判断が必要になるかと思えます。沈着冷静な判断をするためには、

- ① 先輩(経験者)からの助言
- ② 気持ちのゆとり

* 気持ちのゆとりは、如何に**ワークライフバランス**をとっているかです。ONとOFFをしっかりと切り替えしていくことが大事かと思えます。常日頃、出来ることではありませんが、出来るときに実行すればよいかと思えます。

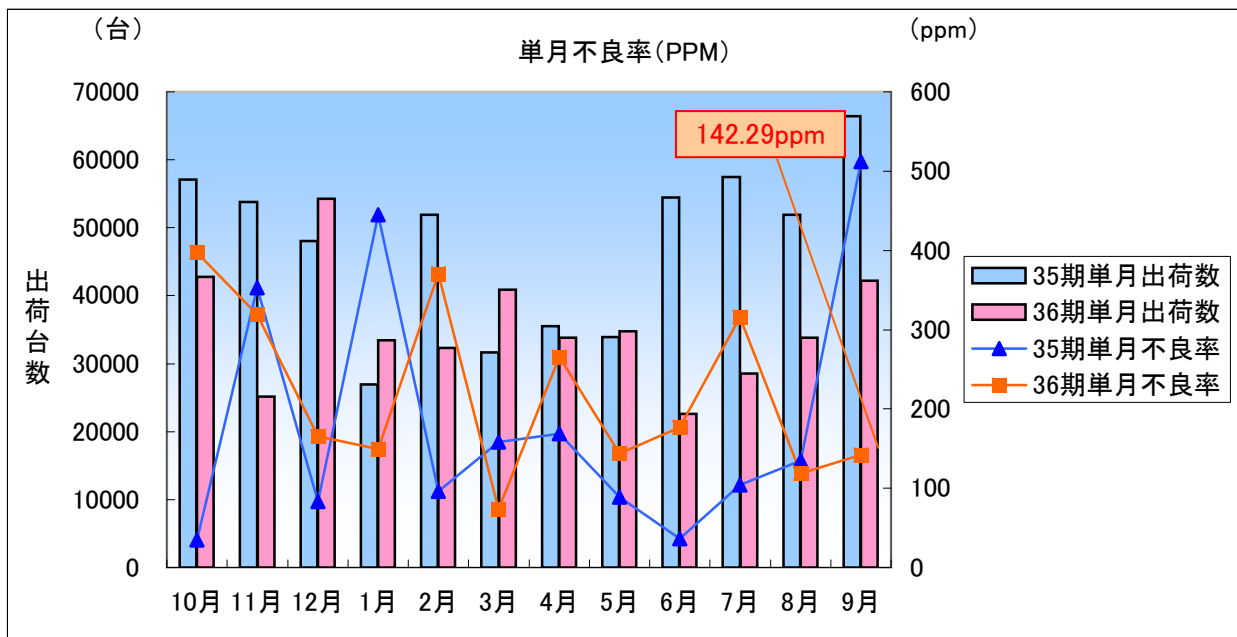
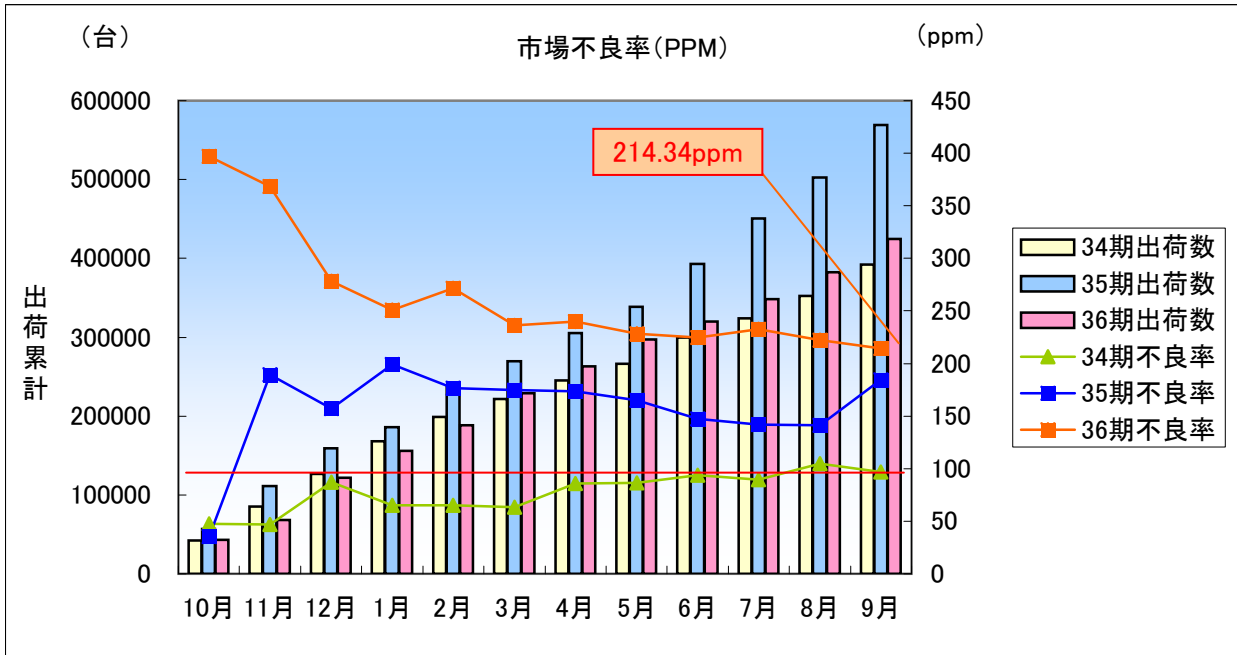
今月の品質状況

36期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

36期の最終的な不良率は214.34ppmです。

市場不良累計は 91件（その他 MOSFET 234件）
 徐々に良くなってきましたが、最初つまづきが最後まで響きました。
 37期こそ、目標100ppmの達成を目指します。

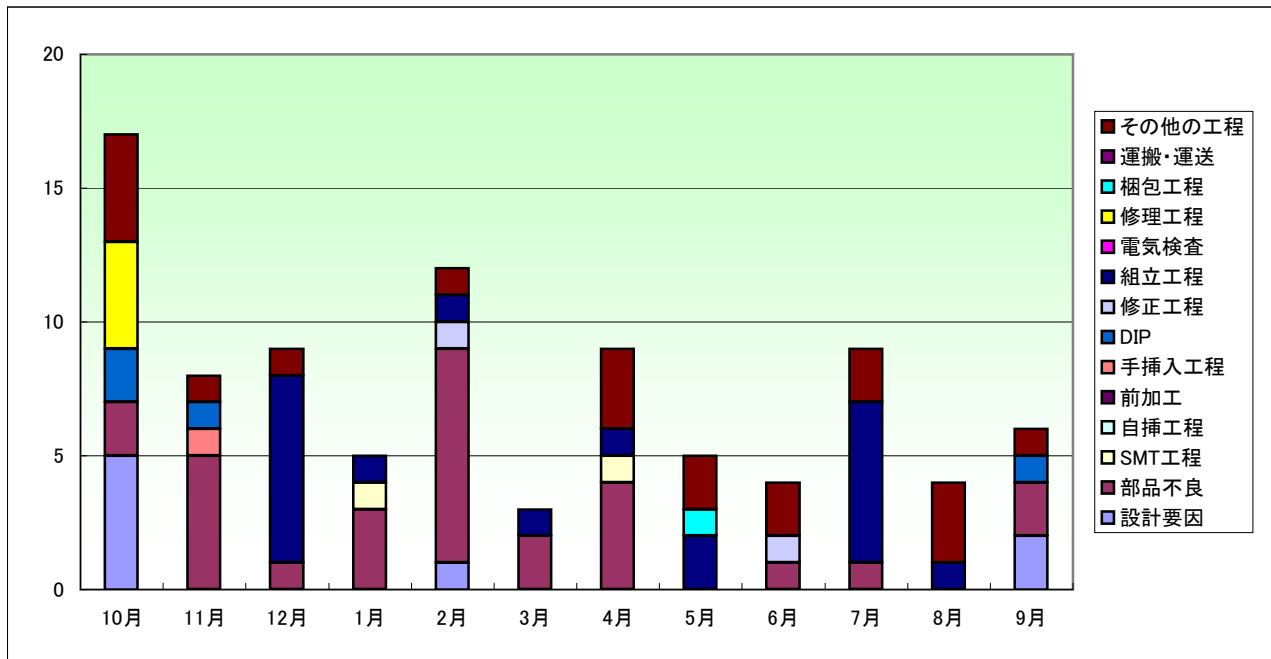


9月の単月不良発生率は6件発生で 142.29ppm です。
 製造不良 1件、その他 5件
 原因不明の部品不良は早急な原因の解明が求められます。

品質状況詳細

原因別、並びに工程別市場不良発生状況

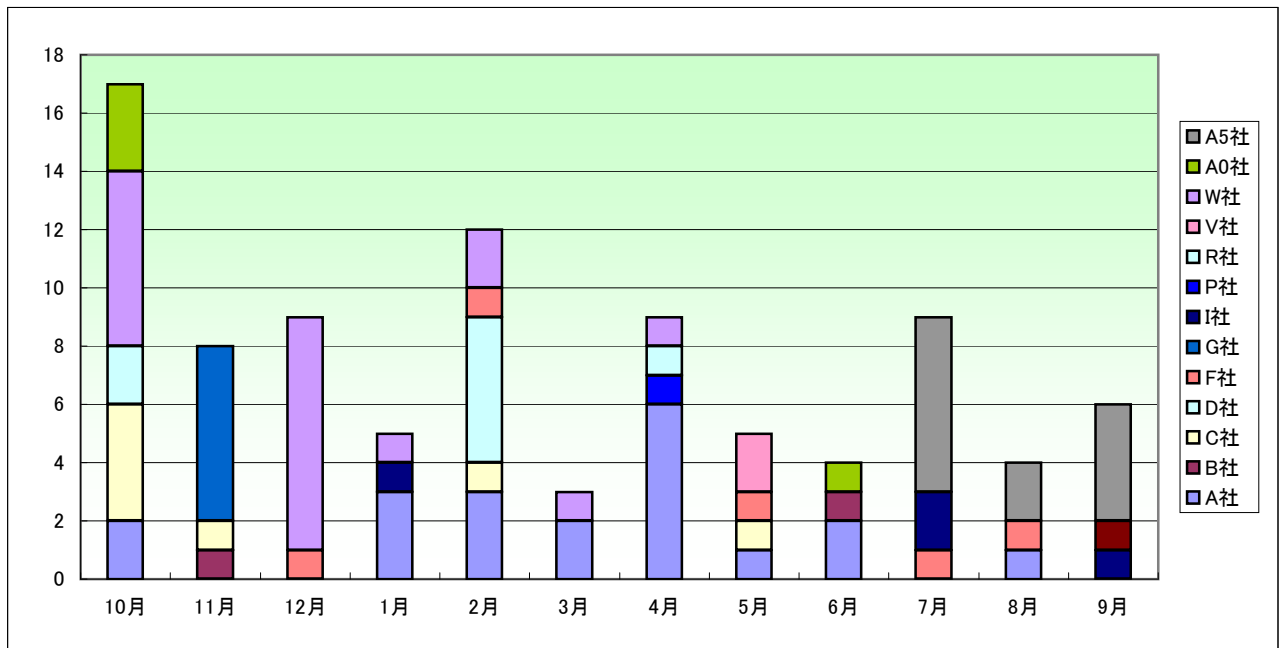
工程別不具合



9月までの工程別不具合

部品不良 29件、組立工程 20件、不明 20件、設計要因 8件、修理工程 4件、DIP工程 4件
不明不良、設計要因の解決を優先的に進めます。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

A5社	12件/3,524台 (3405ppm)	W社	19件/5,854台 (3246ppm) 変化なし
A0社	4件/3,000台 (1333ppm)	I社	4件/3,300台 (1212ppm)
V社	2件/3,000台 (667ppm) 変化なし	A社	20件/31,348台 (638ppm) 変化なし

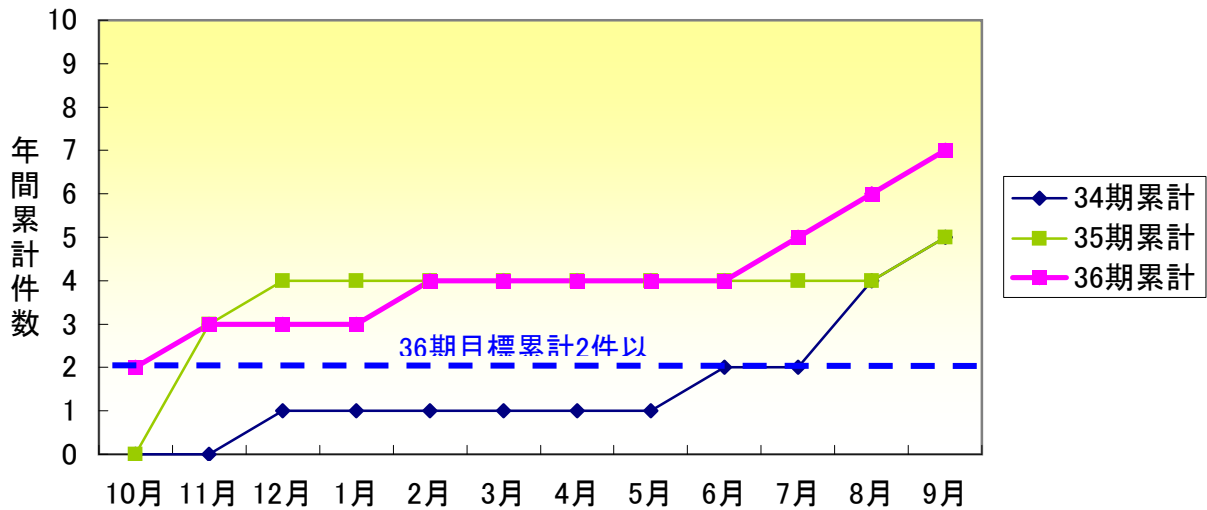
品質状況詳細

クレーム発生状況

クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

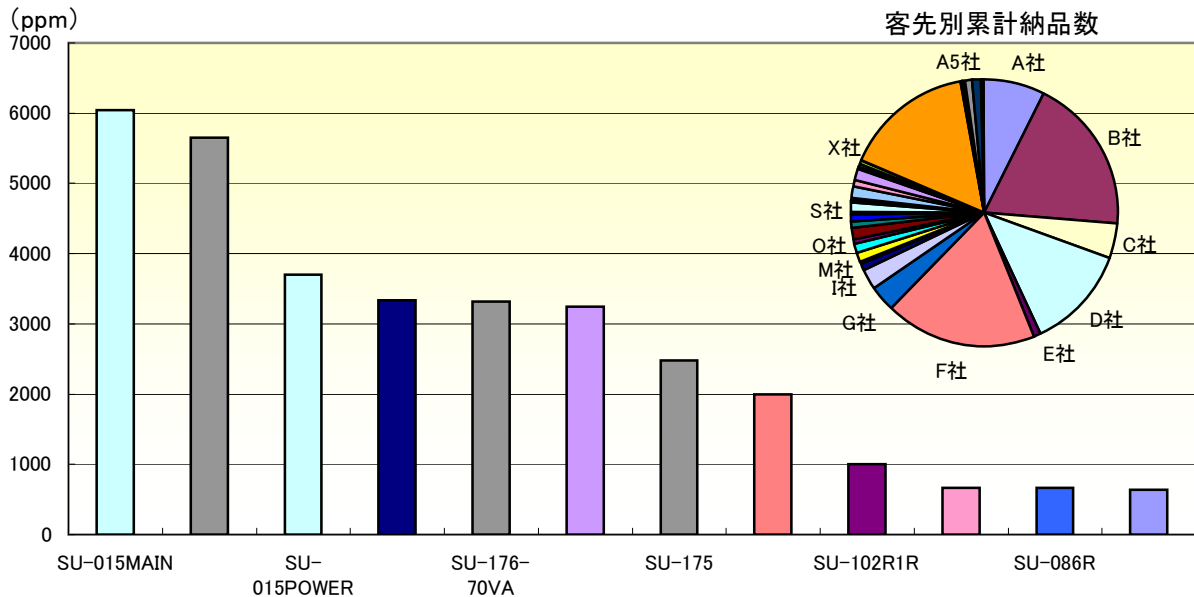
対前年度クレーム件数推移(36期)



クレーム不良合計7件。

9月クレーム不良1件発生、最後の3ヶ月連続でクレーム発生。過去3年間で最も悪い結果になりました。原因は明確なので、37期は同じ過ちを繰り返さず、目標値クリアを目指します。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(不良率ワースト5)

機種	客先	不良数/納品数	単機種不良率
① SU-015MAIN	(R社)	2件/331台	6042ppm
② SU-176-40VA	(A5社)	4件/708台	5650ppm
③ SU-015POWER	(R社)	1件/270台	3704ppm
④ SX-001	(I社)	1件/300台	3333ppm
⑤ SU-176-70VA	(A5社)	5件/1508台	3316ppm

『SSD部門機能強化・勉強会』開催

SANSHIN大学主催で、不具合再発防止への取組みの一環として TECHNOLOGY PJT Technical Advisor 金井 千明氏を講師に 9月25日下記テーマと内容で開講しました。

<テーマ>

1. 「記憶と思考について」
2. 「頭の中には、何を取り込んでいるの？」
3. 「思考と行動」
4. 「ストレスに冷静に対処する方法～ことわざを学ぼう！」

【始めに】

仕事するには、能力向上は、求められるもの。
今日は、能力を高めるために、脳力を養うキッカケのお話をしたい。
私の言う、脳力 とは、知能指数などではなく、
『自分の脳ミソがどんな振る舞いをしているか？』
を知ることで、自分の日常の中で、今までと異なる視点に立つことで、
何らかの、能力UPに役立てていただきたい。

「1」中途半端な記憶は、ロジカルな思考を阻害する！

皆さんは小学校時代、漢字テストをやりましたね！懐かしいでしょ？
口という漢字に2画を追加してできる漢字を思い出してください！
例えば、田んぼの田 とか 目 とか……』
すると、出席者からは、四・甲・旦……と
これは、私が、思い出せ！と言ったことに対して、脳内では、記憶を司る領域に
アクセスが上がり、覚えていることをランダムに吐き出してくる。

しかし、ロジカルなアプローチでは、2画すなわち2本の棒の組合せは、
平行に並ぶ、縦に並ぶ、直行する、となる。従って

田 甲 由 申 古 右 叶 ……

目 旦

四 只 兄 囚

というように、記憶ではなく論理的に創造する。
これが社会では、必要なアプローチであることが多いと思う。

「2」人間の脳は、大きな流れで覚えるのは得意

通い慣れた通勤路を、思い出してみましよう。
駅の改札を出て→タバコ屋の角を曲がって→突き当たりのコンビニを右……
みんな、完全に把握していると思っているが、意外と、細かいところは
把握していないもの。
チェックポイントを見つける、で、右曲がって、とりあえず数分は道なり真直ぐとなると、
この直線部分は、取り込む情報が圧縮されて、次のチェックポイントまでは安心して、
情報収集が疎かになりがちです。
仕事では、要注意！
いつも経験している慣れた作業は、山場を越えると、情性的になる傾向がある。
ここは、手を抜かずに、一步一步を確実に把握するようなクセを付けましょう！

『テーマ3. 4』は、次月号で掲載しますので、お楽しみに。